

## 音更町男女共同参画計画審議会会議結果（要旨）

会議名	第3回音更町男女共同参画計画審議会
開催日時	平成26年7月23日（水） 午後7時から午後9時00分
開催場所	音更町役場庁舎4階401・402会議室
委員出席者	岡庭会長、山本会長職務代理、中塚委員、酒井委員、相澤委員、植田委員、池田委員、鳴海委員、山田委員、石山委員
町側出席者	高木企画財政部長、渡辺企画課長、定村企画調整係長、高田企画調整係主任、松原企画調整係主事
議題・諮問内容	1 会長あいさつ 2 議第 （1）音更町男女共同参画計画の体系の検討について（グループディスカッション形式） 3 その他
会議資料	（資料1）第2回審議会における委員からの意見等 （別冊1）第4期音更町総合計画検証報告書 （別冊2）第5期音更町総合計画
出された主な意見等	<p>【2班に分かれ男女共同参画についてグループディスカッション】</p> <p>各班から出た意見等は次のとおり</p> <p><b>B班の発表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てについて 「かなり男性も子育て・家事をするようになった」「イクメン・イクボスが求められる」「最近はお互いに仕事をしているので、協力は増えた」「学童などのニーズ、土日の仕事のフォローが必要」「保育環境の整備が求められる」</li> <li>・介護について 「在宅は厳しい」「介護も職場の理解が必要」 大変な職場で、人数が足りない、男性・女性の関係、入居者との関係などの改善も必要。</li> <li>・DV・セクハラについて 「見えていない部分が多いのでは」「女性側も注意が必要」 どこまでがセクハラで、どこまでがDVなのか。例えば本人が暑いと言ったので服を脱がせてあげたら、それを本人が望んでいなかった場合、それは虐待になる可能性などもあり、やる人間とやられる人間の意志の疎通で、思いもよらないことを言われたりすることもある。</li> <li>・女性の就職・再就職・起業について 「女性がトップに立つと休みなどもとりやすいのでは」 女性の社会進出が増えているとは言え、役場でも女性の管理職が少ないと聞く。社会で女性管理職が増えていけば、この先変わるのではないか。</li> <li>・職場・企業について 「男性の方も家事をやりたくてもやれない状況」「仕事をしないと評価が下がる」「海外では家庭が中心だが、日本は仕事中心」「企業側も厳しいので休ませられない」 育児休暇を男性が取得することは難しく、取れても昇進などに関わる。</li> <li>・農業、自営業について 「昔は祖母が家事・育児をしていた」 自営業は家の仕事を中心となるので、祖母などがいない現在の核家族化社会では、家事や育児に関して大変な部分が多い。</li> <li>・家庭での教育について 「父がやっている姿を見せることが重要」 家事・育児などを父親が行うと、子どもがそれが普通だと認識する。</li> <li>・学校での教育について 「小さい頃からの教育は大きく影響する」 セクハラ、女性の地位向上などについても、小さい頃から教えていたものが大人になり初めて答えが出る。</li> </ul>

- ・ **地域活動について**  
「女性町内会長も必要」「昔はPTAも女性ばかりだったが、男性も増えた。変わった」  
以前は、PTA等は女性が多かったが、最近は男性も増えた。長年役場に勤めている方でも女性町内会長は見たことがない。今後そういう方が出てくるのが望ましい。
- ・ **政治・行政について**  
「女性相談員が帯広市はすぐわかるが音更はわからない」「専門的な知識を持った人が必要」  
相談のため役場に来た際、分かり易いかどうか、逆に分かり易くて人目につくような場所は良くないので、その辺のバランスも必要。
- ・ **防災について**  
「消防の女性分団など、防災面は進んできている」  
各種の集まりで女性意見が通りづらい中、消防団については、女性も意見を言いやすい雰囲気にあるとのことなので、参考にちてはどうか。 以上。

## A班の発表

- ・ **子育てについて**  
「延長保育」  
まだまだ時間の延長が必要。  
「保育料と賃金」  
本給で計算されるため、実際の賃金からすると高いという意見。  
「託児」  
今の社会では休暇が取りづらい。それぞれの職場で託児を充実させればもっと職場復帰もし易くなるのではないか。  
「夫の強制休暇」  
子どもが産まれたら1週間休むことを制度化してはどうか。
- ・ **介護について**  
「施設・制度の充実」  
これから老人が増えていく中、施設が不足している。制度の充実が必要。  
「高齢者の多様性理解」  
高齢者は、外出しない方もいれば、周りと一緒に過ごすのが好きな方など、様々なのでそこを理解していくことが大切。  
「高齢者自身が考える」  
自分でできるできないは色々あるが、高齢者も自分の状態を考えて周りに伝える必要がある。  
「専門職の養成」  
ヘルパーや介護士などの養成が大切。
- ・ **農業・自営業について**  
「女性の地域社会への参加を家族が理解」  
地域の集まり等に奥さんが出席することに対して、旦那さんや姑さんが理解することが必要。  
「世代に合った計画」  
各世代で男女関係の考え方も違うので、各世代に対応した計画を策定することが必要。
- ・ **地域活動について**  
「人材の発掘」「ネットワークづくり」  
農協や商工会等は女性部があるが、地域で見ると女性が集まる機会が少ないので、市民団体や集まりを通して色々な女性を繋げて人材発掘をしていくことが必要。 以上。

